

鹿児島会場が台風被災

熊本側提案 菊池市で合同開催

大会は、春の全国選抜に
 がる重要なレース。鹿児島県
 大会は鹿屋市の大隅湖で行わ
 る予定だったが、今年9月の
 風16号による土砂崩れや流木
 使用不能に陥った。同県高校
 高連盟ホト専門部の又木一
 委員長(54)は「県内代替地を
 したが、新コースの設置はコ
 上面でも負担が大きかった」
 いう。

そこで熊本県高体連が、西
 大会の合同開催を提案。4月
 熊本地震では、鹿児島を含む
 国の競技者から義援金を受け
 おり、菊池女子高教諭(ホト
 専門部の岩下強委員長(59)
 「競技の精神は信頼と支え合
 今こそ復興支援の恩返し」と
 力した。

大会は互いのレースを交互
 編成し、時間帯による天候の
 響を軽減する工夫を凝らした。
 熊本の保護者が鹿児島県勢を
 撥する、ほほ笑まし、光景も
 った。

鹿児島男子シングルス
 ルを制した鹿屋工業高1年の
 松碧翔さん(15)は「今年はず
 トをこげないで覚悟してい
 温かい善意に感謝し、日本を
 表する選手になって恩返し
 る」と話し、鹿児島県の選手
 員も閉会式で「仲間がいるこ
 を感じた」とお礼。大会スロ
 ガン「九州はひとつの思い」
 共有した。(佐藤公亮)

熊本、鹿児島両県の高校新人ホト大会が22、23日、菊池
 市の斑蛇口湖で開催された。鹿児島県のコースは台風被災。
 見かねた熊本側側が「困った時はお互いさま」と会場提供
 の「助け舟」を出した。



大会ピンチに「助け舟」 高校新人 ホト

スタート地点に向か
 て斑蛇口湖ホト場の
 模範を出る鹿児島県の
 高校生＝菊池市